



## 個性 自律 創造

### 学校経営の方針

本校は、生徒の多様な個性が輝く高校であることを目指し、これまで確かな歩みを進めてまいりました。この歴史と伝統を引き継ぎつつ、さらに、激しく変容する社会を生き抜く力を身に付け、次代を担う生徒を育成するため、令和5年度の本校のスローガンとして、昨年に引き続き「生徒一人一人が持つマイ・ストーリーを大切にす」掲げるとともに、「本校で育成を目指す資質・能力」を定めました。これらを踏まえ、下記の4項目を行動指針として、本校ならではの専門的な教育、創造的な教育をさらに追求してまいります。

- 本校で育成を目指す資質・能力
- 他者との協働を目指し、多様性を認める力
  - 自己実現に向けて、自分自身を形成する力
  - 既存の概念にとらわれないチャレンジ精神

#### 行動指針

- 1 他者の尊重に基づいた、あいさつ文化と対話文化の定着を図り、さわやかな議論あふれる学校づくりを推進します。
- 2 他校にない本校の魅力を情報発信する広報力を一層強化し、地域から理解され、愛される学校づくりを目指します。
- 3 本校が持つ学びの特色の強化と実施方法の効率化により、6系列の学びをさらに充実させ、個性的・自律的・創造的な生徒を育成します。
- 4 生徒一人一人が、学力と表現力を向上させるとともに、キャリア教育を推進することにより、自己実現を目指し、チャレンジ精神あふれる、たくましい生徒を育成します。

校長 小林寿宣

本校は、いわき地区唯一の総合学科を持つ高校として、生徒一人一人が目標への挑戦を通して 躍動・感動・成長 する学校です。

### <総合学科の特色>

- 将来の職業選択を視野に入れ、生徒自らが進路への自覚を深める学びができます。
- 幅広い選択科目の中から、生徒自らが科目を選択し、個性を生かした主体的な学びができます。

#### 重点目標①

### 学びの充実

◎総合学科の特性を生かした魅力ある教育課程の整備及び実践に努め、思考力・判断力・表現力の向上を目指す質の高い教育を行う。

- 6系列の充実した学びと多彩な選択科目の履修により、生徒の幅広い進路の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。
- 専門性の高い系列科目の授業を通して、個に応じた質の高い教育内容を提供する。
- 他者との協働によるアクティブラーニングやICTを活用した授業を実践する。
- 地域での探究的な学びや課題解決型学習、ボランティア活動等を通し、生徒自ら問題を発見し、その課題を解決する力を養う。

#### 【重点指標】

- ・課題の工夫とアクティブラーニングを取り入れた授業の展開（1年次）。
- ・朝自習やGoogle クラスルームを活用した主体的な学びの促進（2年次）。
- ・他教科との連携を密接にした、文章内容の専門性を深める小論文指導（国語科）。
- ・実習や視聴覚教材、ICTを積極的に活用した授業展開（理科）。
- ・高大連携授業のレポート内容の充実。社会福祉施設との連携（看護・福祉科）。

#### 重点目標②

### 表現活動の充実

◎総合的なコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を育成する。

- 各種ワークショップを通して表現活動を実践し、創造的な生徒を育成する。
- 充実した多様な部活動・委員会活動を展開して、生徒の自律的な姿勢を育成する。
- 生徒が主体的に取り組む生徒会行事やボランティア活動を推進する。
- 各教科・科目の授業においても、表現活動の充実を図る。

#### 【重点指標】

- ・「産業社会と人間」等を活用し、仲間と協力して発表する機会を確保（1年次）。
- ・「総合的な探究の時間」等で積極的なタブレット端末の活用（2年次）。
- ・課題研究や学校行事を通した、自己の資質形成（3年次）。
- ・多様性の尊重、協働する態度を養うコミュニケーション・ワークショップの年間3回実施（総合学科推進部）。
- ・地域理解と課題を系列授業と関連づけた地域探究活動の実践（総合学科推進部）。
- ・校内文化発表会などでの発表及び展示。各教科・各系列とのコラボレーション企画の設定と、生徒同士の対話と協働の機会確保（芸術・表現系列）

#### 重点目標③

### キャリア形成

◎総合学科の特性を生かし、生徒が主体的に取り組むキャリア教育を推進する。

- 生徒各自の能力・適性を見極め、希望進路の実現に向けきめ細かい指導を実践する。
- 価値観の違いや多様性を受け入れる寛容さを養う。
- 体験的活動を通して、創造力と探究意欲を醸成する。
- 生涯にわたって心身の健康を保持・増進し、豊かな人生を営むための資質・能力を育成する。
- 各種検定試験に係る指導法の向上に努め、生徒の目標を達成させる。

#### 【重点指標】

- ・多様な文化への理解を深め、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成。（英語科）
- ・学びと生徒のライフプランとのつながりを意識させ、主体的な進路選択の姿勢を育成。（演劇科）
- ・漢検準2級20人以上・2級5人以上合格、数検準2級6名以上・2級1名以上合格、家庭技術検90%合格、情処検1級5名合格、認知症リハビリ検・住環境コーディネーター検3級・手話検4級合格（以上、関係各科・系列）

#### 重点目標④

### 情報発信・共有

◎校務の情報化・共有化を推進するとともに、各年次、部、系列間の連携をより深める。

- HPの活用、各種印刷物の発行、学校説明会の実施など、様々な機会を捉えた情報発信を充実させる。
- PTA・文化体育後援会・同窓会会員への情報提供に努め、諸活動・諸行事への参加を推進する。
- 東日本国際大学、いわき短期大学、医療創生大学との連携を深め、その実践を学校内外に発信する。

#### 【重点指標】

- ・学校HPでの情報発信と携帯メール連絡網の効果的な運用。（教務部）
- ・行事・式典等と連携を図り、生徒が活躍できる場を多く作ることに、芸術表現系列の活動を学校の特長として発信。（芸術表現系列）
- ・「SOGO PRIDE」の定期発行（生徒指導部）、「進路便り」の年6回以上発行（進路指導部）、「図書便り」の年5～6回以上発行（図書部）、「家庭クラブ新聞」の発行（家庭科）。
- ・Googleドライブの活用による校務の情報化と共有による業務効率化。（教務部）
- ・他系列との連携を図り、授業でのICT機器の有効利用を進める。（情報科）

※上記の重点目標は、学校経営方針及び各年次・部・系列・教科の努力目標をもとに、学校全体で重点的に取り組む内容をまとめたものであり、自己評価及び外部評価の対象となるものです。